

# 令和4年第3回定例会の提出議案と審議結果

## ●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果
第72号議案	令和4年度ふじみ野市一般会計補正予算(第4号)	可決
第73号議案	令和4年度ふじみ野市一般会計補正予算(第5号)	可決
第74号議案	令和4年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第75号議案	令和4年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第76号議案	令和4年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
第77号議案	令和4年度ふじみ野市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第79号議案	令和3年度ふじみ野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第80号議案	令和3年度ふじみ野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第82号議案	令和3年度ふじみ野市水道事業会計決算の認定について	認定
第83号議案	令和3年度ふじみ野市下水道事業会計決算の認定について	認定
第84号議案	ふじみ野市手数料条例等の一部を改正する条例	可決
第85号議案	ふじみ野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及びふじみ野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第86号議案	財産の取得について	可決
第87号議案	ふじみ野市道路線の変更について	可決
第88号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第89号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第90号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第91号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第92号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第93号議案	教育委員会委員の任命について	同意
第94号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決

## ●賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会					日本共産党					公明党		信政会		会派に属さない議員					
			坪田敏孝	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	西和彦	大塚守	小高時男	新井光男	床井紀範	足立志津子	伊藤初美	塚越洋一	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	伊藤美枝子	近藤善則	鈴木啓太郎	金濱高頭
第78号議案	令和3年度ふじみ野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案	令和3年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わっていません。

## 令和3年度

# 一般会計 決算討論

賛成多数で認定

賛成

コロナ禍でも安定した市政運営を

青藍会 原田雄一 議員

新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予算編成時には予見できない状況の中で突発的な危機対応にあたり13回にもわたる補正予算を組み対応したことは、非常に高く評価できる。また、国や県の支援を待たずに必要な事業を即座に実施できたのは、計画的に積み上げてきた基金の活用によるものである。

今後も絶えず変化する新型コロナウイルス感染症への対応など厳しい状況であるが、将来を見据えた安定的な市政運営の継続をお願いしたい。

反対

コロナ対策など市独自策が限定的

日本共産党 塚越洋一 議員

実質収支が19億円、各種基金残高が142億円もあるのに、市独自のコロナ禍対策については限定的な施策展開に止まり、財政出動を集中させることができなかったことは、市行政としての政策的リーダーシップの在り方が問われるところである。

医療・介護・保育・学校などで働く人達への支援の充実など、もっと細やかな暖かな手を差し伸べるべきだった。

予算流用が125件もあり、多すぎるので検討すべき。不用額の扱い方も精査が必要である。

賛成

コロナ対策と学習環境の整備を評価

公明党 鈴木美恵 議員

新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金等を活用し積極的な事業が展開されている。

また、GIGAスクール構想用タブレット端末の購入・周辺機器の整備、小・中学校の体育館空調設備設置等工事が実施され、学習環境の整備・確保に加え、災害時の避難所としても安全な機能の向上が図られたことを評価する。

少子高齢化による社会保障関連の経費上昇、老朽化した公共施設の整備事業が続く中、持続可能な行財政運営をお願いする。

賛成

児童発育・発達支援センターの公設化を評価

信政会 鈴木啓太郎 議員

児童発育・発達支援センターの公設化につき、問題を指摘する。第1に法人側に公設化の方針が示されたのは前年の1月で事前協議等もなく口頭での説明で拙速かつ一方的であった。第2に法人が本年3月15日に事業廃止届を提出したのは、児童への影響を最小限にするための苦渋の選択だった。第3に法人との十分な対話の記録や合意の文書を積み重ねない姿勢に疑問が残る。しかし、現状は総合相談を0歳から18歳までの発達に課題がある児童への行政の責任を明確にした点については高く評価する。

賛成

日本製品の積極的選定を

会派外の議員 金濱高頭 議員

市税の収入未済額と不納欠損額の大幅減を高く評価する。歳出では有志の方からの頂いた寄附について、寄附者の意向が反映された使途であったことを決算内容から確認することができた。

市が購入する備品や消耗品について、中国など外国製の製品が含まれていることを確認したが、為替変動への対応や本市で製造された製品が他市で選定される根拠にもつながるので、今後速やかに日本製の製品を優先して選定していただくことを強く要望する。